

令和元年度 滋賀応援寄附 活用事業のご報告



みなさまからいただきましたご寄附は、以下の事業に活用させていただきました。


①美しい琵琶湖を守ろう

生物多様性しが戦略普及推進事業	寄附金活用額 2,163千円
<p>○県民を対象に県内での自然観察会やエコツアーを開催し、生物多様性のつながりと生活との関わりについて学習していただきました。</p> <p>○びわ湖環境ビジネスメッセに出展し、パネル展示により生態系サービス利用モデルの普及啓発を県民対象に実施しました。</p>	 <p>エコツアーの様子(朽木生杉原生林)</p>
環境学習センター事業	寄附金活用額 2,780千円
<p>○県民や企業、学校等が行う環境学習や活動を推進するため、環境学習のウェブサイトやメールマガジンなどによる情報発信、交流促進の場として、「環境ほっとカフェ」や「環境学習活動者交流会」の開催等を行いました。</p>	 <p>【環境ほっとカフェ】</p>
固有種ゲンゴロウブナで学ぶ琵琶湖再生事業	寄附金活用額 2,530千円
<p>○植物プランクトン食であるゲンゴロウブナ136万尾を放流し、資源を回復させることで、安定した生態系の確保に取り組みました。</p> <p>○小学生を対象に琵琶湖の漁業や、生態系について学習会を実施し、ゲンゴロウブナの放流体験を提供することで、琵琶湖の環境学習に貢献しました。</p>	 <p>ゲンゴロウブナ</p>  <p>放流体験の様子</p>

<p>学習船「うみのこ」親子体験航海</p>	<p>寄附金活用額 842千円</p>
<p>○滋賀県が誇るフローティングスクール事業の意義を、他府県の皆様に知っていただくことを目的とし、県外の小学3～5年生を対象とした1日航海を2回実施(110組、220名)しました。</p>	 <p>親子で沖島展望</p>
<p>琵琶湖レジャー利用適正化推進事業</p>	<p>寄附金活用額 222千円</p>
<p>○琵琶湖の豊かな生態系を取り戻すため、“釣っても逃がさない”外来魚のリリース禁止の輪を広げます。寄附金は、県や企業・団体等が開催する外来魚駆除釣り大会の運営等に活用しました。</p>	 <p>びわこルールキッズ釣り大会</p>
<p>外来生物防除対策事業</p>	<p>寄附金活用額 487千円</p>
<p>○特定外来生物であるオオバナミズキンバイやオオキンケイギクについての学習会の開催や駆除活動を実施しました。</p>	 <p>オオキンケイギク駆除学習会</p>
<p>ラムサールびわっこ大使事業</p>	<p>寄附金活用額 1,280千円</p>
<p>○県内の小学校5～6年生、8名を対象に、環境保全活動の核となる次世代のリーダーを育成しました。 ○びわっこ大使として、琵琶湖の環境についての3回の事前学習を行い、宮城県南三陸町への県外派遣では、地元の子どもたちと交流や発表を行いました。</p>	 <p>宮城県南三陸町派遣での発表</p>

<p>「びわ湖の日」活動推進事業</p>	<p>寄附金活用額 5,880千円</p>
<p>○森川里湖のつながり、京阪神地域との連携・発信、日本（世界）農業遺産との連携、民間団体との協働取組を重点テーマとし、琵琶湖に関わる活動等へいざなうための情報を発信しました。</p> <p>○県内小学校の児童等を対象に「この夏！びわ活！ガイドブック」の配付や「びわ活フェスティバル」の開催等を行いました。</p>	 <p>この夏！びわ活！ガイドブック 2019 びわ活フェスティバル 2019</p>
<p>船舶・機器等維持管理</p>	<p>寄附金活用額 18,924千円</p>
<p>○琵琶湖の水質や、県内の地下水、降水を含めた大気等のモニタリングに使用する分析機器や、プランクトン調査等の研究に用いる機器の更新整備を行いました。</p> <p>○イオンクロマトグラフ分析装置は、琵琶湖水中のナトリウム、カリウム等のイオン成分の水質分析や、降水中の硝酸イオン等を測定して、琵琶湖の富栄養化の原因となる降水由来の琵琶湖への窒素負荷量の推定に役立っています。</p>	 <p>イオンクロマトグラフ分析装置</p>
<p>水草刈取事業</p>	<p>寄附金活用額 300千円</p>
<p>○琵琶湖に大量繁茂する水草を刈り取ることで、悪臭などの生活環境や自然環境への影響を軽減し、その水草をたい肥にして利用することで、地域資源を循環利用しました。</p>	 <p>水草刈取船での刈り取り</p>

②健康な「やま・森」をつくろう

<p>「やまの健康」推進事業</p>	<p>寄附金活用額 139千円</p>
<p>○「やまの健康」とは、森林・林業・農山村を一体的に捉え、魅力的な地域資源を活かしたモノ・サービスを皆さんの暮らしと結びつけることで、滋賀の豊かな暮らしを実現しようとするプロジェクトです。</p> <p>○モデル地域への活動支援を行うとともに広報物を作成し、県民の皆さんに活動を呼び掛けました。</p>	 <p>森林における活動支援 県民向け広報作成</p>

③目指せ「世界農業遺産」

「世界農業遺産」プロジェクト推進事業

寄附金活用額

124千円

- 「日本農業遺産」に認定され、「世界農業遺産」の候補にもなっている「琵琶湖と共生する農林水産業」(通称:琵琶湖システム)について、その魅力を皆様に伝えるシンポジウムを開催しました。
- また、これについて、より多くの子どもたちや県内外の皆様を知っていただけるよう「琵琶湖システム」のHPを開設しました。



子どもたちも参加したシンポジウム



HPも開設

④琵琶湖博物館を応援しよう

県民参加型交流会開催事業

寄附金活用額

169千円

- 琵琶湖博物館の3期6年にわたるリニューアルの情報や魅力を発信する機会として、県内の中高生や一般バンドを対象としたアトリウムコンサートを実施しました。



【アトリウムコンサートの様子】

⑤安全・快適なビワイチを！

自転車通行空間整備

寄附金活用額

68千円

- 上級者から初級者まで、誰もが安全・安心に「ビワイチ」を楽しめるよう、走行レベルに応じた自転車の通行空間を整備しました。
- だれもが迷わずにサイクリングができるよう、2か国語やピクトグラム化を施した路面表示や看板による案内施設の整備を実施しました。





自転車歩行者専用道路の整備








路面表示の設置

⑥国スポ・障スポを応援しよう


<p>国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備事業</p>	<p>寄附金活用額 58千円</p>
<p>○次世代アスリートの発掘・育成・強化など、競技力向上に向けた事業のために活用しました。 ○開・閉会式会場となる(仮称)彦根総合運動公園をはじめとした両大会の会場施設を整備するために活用しました。</p>	<p>次世代アスリート発掘育成プロジェクト</p>  <p>(仮称)彦根総合運動公園</p> 

⑦滋賀の文化財を次世代へ


<p>近代美術館収蔵作品再生公開事業</p>	<p>寄附金活用額 6,082千円</p>
<p>○劣化が進んでいた、江戸時代に活躍した日本画家、横山華山の「近江八景図」の修復を行いました。 ○県民共有の貴重な文化財である作品の保護の重要性を知っていただけのように修復の過程を紹介するパンフレットを作成しました。</p>	 <p>修復作業</p>
<p>「近江の心」を育む「伝えたい・残したい郷土の魅力～文化財かるた」作成・活用事業</p>	<p>寄附金活用額 974千円</p>
<p>○文化財かるたガイドブックと文化財かるたカードを作成し、県内の小中学校や図書館等に配布しました。 ○文化財かるたのパネル展や講座を開催しました。</p>	
<p>文化財入門セミナー「はじめての滋賀の文化財」事業</p>	<p>寄附金活用額 1,353千円</p>
<p>○滋賀の豊かな文化財の価値および魅力を認知し、文化財を大切にする意識醸成を図ることを目的として、普段文化財に接する機会の少ない県民を対象として、「お城入門セミナー はじめての近江の城」と「仏像入門セミナー 仏像に親しむ」を実施しました。</p>	


<p>文化財継承人づくりアクティブ・ラーニング・モデル事業</p>	<p>寄附金活用額 162千円</p>
<p>○歴史や文化財に興味を持つ中高生を対象として、滋賀県内の建造物と埋蔵文化財について学ぶ2つのコースを開催しました。 ○園城寺(大津市)、上砥山遺跡(栗東市)でのフィールドワーク等を通じて本物の文化財保護の仕事を体感し、ひとりひとりが文化財を未来に伝える意味を考え、意見交換を行いました。</p>	 <p>園城寺光浄院の修理現場見学 上砥山遺跡で発掘調査体験</p>
<p>文化財を未来へつなぐ「びわこMyばん祭」開催事業</p>	<p>寄附金活用額 216千円</p>
<p>○屋外に土器や埴輪等を展示し、自由にイラスト製作や写真撮影ができる「My ぶんどキドキ観察会」を計4回開催しました。 ○製作された作品 237 点を滋賀県埋蔵文化財センターで展示し、若い世代の埋蔵文化財への興味関心の高まりに貢献しました。</p>	 <p>土器の絵を描く子供たち</p>

⑧学習船「うみのこ」を応援しよう

<p>「うみのこ」での教育活動</p>	<p>寄附金活用額 499千円</p>
<p>○1泊2日の児童学習航海を101航海(県内235校乗船児童13,646人)実施しました。</p>	 <p>カッター活動</p>



⑨子どもをみんなで守ろう

<p>児童虐待防止対策事業(「オレンジリボンをあなたの胸に」事業)</p>	<p>寄附金活用額 73千円</p>
<p>○11月の「児童虐待防止推進月間」を中心に、オレンジリボン(子ども虐待防止のメッセージリボン)を活用し、子ども虐待防止に向けた県民への広報啓発を行いました。</p>	


<p>児童養護施設等で暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり事業</p>	<p>寄附金活用額 79千円</p>
<p>○地域企業の協力による仕事体験や、小学生の工場・職場見学会を実施しました。 ○児童養護施設等で暮らす子どもたちの自立生活につながるよう、将来について考えるためのセミナーを開催しました。</p>	 <p>仕事体験の様子</p>

⑩地域ににぎわいを！



<p>「やま・さと・まち」空き家流通促進モデル事業費</p>	<p>寄附金活用額 34千円</p>
<p>○今後の空き家対策の取組検討を行うため、滋賀県空き家対策検討調査を実施し、県内の既存住宅の流通状況等の調査および分析を行いました。</p>	 <p>県内の既存住宅の流通状況</p>
<p>地域づくり人材育成事業</p>	<p>寄附金活用額 144千円</p>
<p>○公立大学法人滋賀県立大学において、SDGsの視点に立った持続可能な地域コミュニティを支える人材を育成しました。</p>	
<p>未来を拓く地域づくり推進事業</p>	<p>寄附金活用額 5千円</p>
<p>○住民主体の地域づくりや人材育成に係る研修を行うとともに、地域づくりの先進地視察を行い、市町職員のネットワーク形成やスキル向上を図りました。</p>	

滋賀県離島振興交付金	寄附金活用額 10千円
<p>○沖島町離島振興推進協議会が、来島者受入環境整備(休憩所整備、島内案内看板設置等)、空き家利活用事業、沖島の紹介パンフレット制作、沖島ファンクラブ「もんで」事業などを実施しました。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> 整備した休憩所 島内案内看板 </p>

⑪文化の力で次世代育成♪

びわ湖ホール舞台芸術体験事業(「ホールの子」事業)	寄附金活用額 58千円
<p>○ 県内の子どもたちが優れた舞台芸術に触れる機会を提供するため、県内小学生等をびわ湖ホールに招き、オーケストラと声楽アンサンブルによる音楽公演を実施しました。</p> <p>○ 令和元年度は、県内小学校等 137 校、児童等 10,007 人の参加がありました。</p>	 <p style="text-align: center; font-size: small;">子どもたちと一緒に合唱♪</p>

⑫陶芸で豊かな心を育てよう

世界にひとつの宝物づくり事業	寄附金活用額 58千円
<p>○子どもや障がい者を対象に陶芸の森や学校等への出張授業で「土」を使った創作体験の場を提供しました。また、陶芸の森陶芸館ギャラリーにて完成した作品の展覧会を開催しました。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

地方創生

政策調整	寄附金活用額 487千円
<p>○地方創生にかかる国への政策提案・要望などを行いました。</p>	

近江学園

近江学園事業

寄附金活用額

50千円

○全ての人々がそれぞれの持っている力を精一杯発揮できる社会の実現を目指し、障害のある子どもたちが心豊かに育っていくように支援を行いました。



近江学園作品展の展示風景

新型コロナウイルス感染症対策

感染症予防対策事業

寄附金活用額

2,200千円

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、マスクやエタノールなどの衛生物資を購入し、県内の医療機関等に配布しました。



※写真はイメージです。